

平成29年度「インターネット利用等に関する調査」結果（概要）

県教育庁義務教育課・高校教育課

調査時期	調査方法	平成29年10月、県教委が作成した無記名アンケート
調査対象	対象校数	県内公立全小・中学校、義務教育学校及び高等学校、特別支援学校の全児童生徒を対象 819校（小学校511校、中学校220校、義務教育学校2校、 高等学校70校、特別支援学校16校）
回答者数	155,748人（小学校82,929人、中学校40,919人、高等学校30,376人、特別支援学校1,524人）	

I 児童生徒に対する調査

1 インターネット接続機器の所持率（％）

（ここでいうインターネット機器とは、携帯電話（スマートフォンを訛。）、ゲーム機、パソコン、タブレット型端末、携帯音楽プレーヤー等、インターネットに接続できる機器を指す。）
※ 全回答者数に対する割合、（ ）は昨年度の割合

	自分専用	家族共用を使用	所持又は使用	未所持・未使用
小学校	41.2 (43.4)	43.1 (40.8)	84.3 (84.2)	15.7 (15.8)
中学校	69.7 (69.7)	26.1 (25.9)	95.8 (95.6)	4.2 (4.4)
高等学校	97.5 (96.6)	1.7 (2.4)	99.2 (99.0)	0.8 (1.0)
特別支援学校	36.6 (34.6)	36.6 (29.0)	73.2 (63.6)	26.8 (36.4)

小学生の8割以上が、携帯電話（スマートフォンを訛。）、ゲーム機、パソコン等のインターネットに接続できる機器を1台以上所持又は使用している。

2 児童生徒の携帯電話（スマートフォンを含む。）の利用について

(1) 自分専用の携帯電話（スマートフォンを訛。）所持率（％） ※ 全回答者数に対する割合

		平成28年10月		平成29年10月	
小学校	従来型携帯電話	17.3	24.0	12.3	18.9
	スマートフォン	6.7		6.6	
中学校	従来型携帯電話	12.6	40.7	12.2	42.7
	スマートフォン	28.1		30.5	
高等学校	従来型携帯電話	2.9	95.4	2.4	95.7
	スマートフォン	92.5		93.3	
特別支援学校	従来型携帯電話	5.4	21.3	4.3	23.2
	スマートフォン	15.9		18.9	

小学校は今回減少したが、他の校種においては、自分専用の携帯電話所持率は毎年増加傾向である。

(2) 自分専用の携帯電話（スマートフォンを訛。）所持者のフィルタリング設定率（％）

※ 自分専用携帯電話所持者中、フィルタリングを設定している者

	平成28年10月	平成29年10月
小学校	46.4	41.6
中学校	44.2	40.7
高等学校	64.4	61.0
特別支援学校	65.2	69.8

小・中・高校生のフィルタリングの設定率は、毎年減少傾向にある。

3 インターネット接続機器の利用に関する家庭内ルールについて

(1) 家庭内ルールの設定率 (%)

※ 家族共用も含むインターネット接続機器利用者中、ルール設定がある者

	平成28年10月	平成29年10月
小学校	68.0	67.0
中学校	55.4	58.1
高等学校	41.8	44.7
特別支援学校	60.9	62.9

(2) 家庭内ルールの内容 (%)

※ 家庭内ルール設定者に対する割合 (複数回答)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
使用時間の制限	80.1	82.6	76.1	86.6
利用マナーを決めている	32.7	56.9	58.1	40.0
保管場所を決めている	35.5	24.2	16.8	38.8
接続先を制限している	23.4	16.2	8.7	20.4
保護者が接続記録を確認する	23.5	16.7	6.4	30.9
毎月の料金の制限	6.9	11.4	17.6	11.4

家庭内ルールの内容は、いずれの校種でも「使用時間の制限」が最も多く、次いで中学校・高等学校、特別支援学校では、「利用マナーを決めている」が多く、小学校は、「保管場所を決めている」が多い。高等学校では、「毎月の料金の制限」が3番目に多い。

4 学校以外でのインターネット利用について

(1) 最も長い時間利用している内容

※ 全回答者数に対する割合、()は昨年度の割合

順	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	内容	%	内容	%	内容	%	内容	%
1	音楽、画像、動画の閲覧	30.4 (27.6)	音楽、画像、動画の閲覧	37.0 (34.4)	SNSなどでのコミュニケーション(LINE等)	43.0 (46.0)	音楽、画像、動画の閲覧	31.8 (31.8)
2	ゲーム	29.9 (31.9)	SNSなどでのコミュニケーション(LINE等)	21.8 (22.9)	音楽、画像、動画の閲覧	30.9 (28.2)	ゲーム	18.9 (14.1)
3	学習活動	12.1 (11.8)	ゲーム	20.2 (20.7)	ゲーム	14.1 (13.6)	SNSなどでのコミュニケーション(LINE等)	9.8 (5.3)
4	SNSなどでのコミュニケーション(LINE等)	2.7 (2.8)	学習活動	12.1 (11.4)	学習活動	7.0 (7.6)	学習活動	6.8 (7.4)
5	メール(Eメール、ショートメールのみ)	2.4 (2.5)	メール(Eメール、ショートメールのみ)	2.0 (2.1)	メール(Eメール、ショートメールのみ)	2.0 (1.6)	メール(Eメール、ショートメールのみ)	2.4 (1.4)
6	買い物やチケットの予約等	0.5 (0.5)	その他	0.6 (0.8)	その他	0.4 (0.5)	その他	0.6 (0.5)
7	その他	0.5 (0.5)	買い物やチケットの予約等	0.4 (0.5)	買い物やチケットの予約等	0.3 (0.3)	買い物やチケットの予約等	0.1 (0.2)

(2) 平日の平均利用時間 (%)

※ 全回答者数に対する割合, ()は昨年度の割合

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
利用していない	29.5 (31.0)	8.7 (9.9)	1.9 (2.2)	36.6 (41.4)
30分未満	25.9 (27.1)	14.9 (15.7)	8.2 (9.2)	19.6 (12.6)
30分以上～1時間未満	20.2 (19.6)	21.2 (21.2)	18.4 (19.4)	13.1 (13.1)
1時間以上～2時間未満	11.7 (10.2)	25.5 (23.7)	29.1 (27.2)	10.7 (12.6)
2時間以上～3時間未満	4.4 (3.4)	14.9 (13.3)	20.7 (18.8)	7.0 (5.8)
3時間以上～4時間未満	1.9 (1.3)	6.8 (6.2)	10.2 (10.0)	3.4 (3.0)
4時間以上～5時間未満	1.1 (0.7)	3.0 (2.8)	4.6 (4.2)	0.9 (1.5)
5時間以上	1.6 (0.8)	3.7 (3.8)	6.1 (6.0)	3.0 (1.7)
未回答	3.7 (5.9)	1.3 (3.4)	0.8 (3.0)	5.7 (8.3)

(3) インターネット利用上で困ったこと

ア 困った(困っている)ことがある (%)

※ 全回答者数に対する割合

	平成28年10月	平成29年10月
小学校	3.5	4.1
中学校	7.7	7.1
高等学校	10.8	9.8
特別支援学校	5.4	4.9

小学校でインターネット利用上で困ったことがあると回答した児童が増加している。内容は昨年度と同様にすべての校種で「迷惑メールが増えた」が最も多く、次いで「悪口やいやなうわさ話を書かれた」が多い。また、SNS等の利用を通じて、仲間外れ、いやな思いをしたり、個人情報勝手に流されたり、知り合った人と会ったりしている児童生徒もいる。

II 学校に対する調査

1 携帯電話(スマートフォンを含む)の校内への持込みについて (%)

※ 全回答者数に対する割合 ()は昨年度の割合

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
ア 例外なく許可していない	77.8 (75.7)	93.7 (91.5)	19.7 (27.1)	6.3 (6.2)
イ 条件付きで許可する	20.9 (21.4)	6.3 (7.2)	76.1 (70.0)	81.2 (81.3)
ウ 規定なし	1.3 (2.9)	0.0 (1.3)	4.2 (2.9)	12.5 (12.5)

小・中学校では、「例外なく許可していない」学校が多い。中学校・高等学校では、保護者名の申請書提出による「条件付きで許可している」学校がやや増加してきている。